

日本発ウィーン便り：ウィーンの植物園

行き先を決めず、最初に来た路面電車に乗ったら着いたのが Schloss Belvedere（ベルヴェデーレ宮殿）。



美術館になっていて、クリムトの一番有名な絵はここに 있습니다。
美術館には行かず、庭園を散歩。



ちょうど噴水が工事中でしたが、ここも好きな風景の一つです。
庭園を歩いていると、何度も来たことがあるはずなのに、見慣れないものを発見！



Alpengarten（アルペンガルテン：高山植物園）。どうも春～夏の短い期間しか開いてないみたいです。
せっかくなので、行ってみることにしました。チケットを買って、入ろうとすると、いきなり道が二手に
分かれています。何も考えずに手前の道を進むと、そこは広—い植物園でした。☺



途中、ジョギングしている人とか、ちびっこの集団とかに遭遇し、「入場料払ってジョギングするかなあ？何かおかしい」と思いつつ色々な木々や花を見ながら散歩。40分程かかって反対側の入り口近くにたどり着きました。そこには「高山植物園」の一角もあったのですが、チケット売り場などなく、好き勝手にみんな入ってきています。私の買ったチケットは何のため??…そこで思い当たるのが、最初の2つにわかれた道。多分無料の植物園の方に突き進んだんだろうなあ。と思って戻ります。入口まで戻ると、チケット売りのおばちゃんに、「ああ帰ってきた！よかった！」と歓迎されました。チケット買って、いきなり無料の植物園に入って行ったので、「この子分かってるんやろか？」と心配していたそうです。☺

植物園には竹林（中を通れるようになってます）や、不思議な形の木、Bienenhaus（ビーネンハウス：蜂の巣）なんかもあっておもしろいです。ミツバチがたくさん飛んでいました。「触るな！毒草」とさりげなく書かれた草が通り道の脇に普通に生えているのも面白いです。（日本だったら絶対こんなすぐ触れる位置には植えないでしょう。）



そして Alpengarten へ。



高地に咲く花は本当に小さくて可憐なのですが、地味なのです…。◎珍しい植物がたくさんありました。多分高山植物ではないと思いますが、色とりどりのツツジや立派な牡丹と、どこもかしこも花いっぱいでした。



ちょっと気に入った風景。お花の時期、植物園の散歩も楽しいですよ。